

学校体育研究同志会

どうしかい

第37回大阪支部研究大会（南河内大会）

「すべての子どもたちに豊かな運動文化を」

～ 子どもの声を学びに活かす授業づくり～



2022年7月30日(土)

～31日(日)

会場：河内長野市立千代田小学校

30日(土)

9	10	11	12	13	14	15	16	17
受付	開会行事 基調報告	分科会① I 10:30～12:30	昼食		分科会① II 1:30～4:00		一日目 のまとめ	

31日(日)

分科会② I 9:00～11:00	昼食	記念講演 12:00～1:30	分科会② II 1:45～4:15	閉会 行事
----------------------	----	--------------------	----------------------	----------

分科会では、一つの実践報告を実技などを通してみんなで検討し合います。わからないことを確かめ合いながら進めていきます。授業づくり分科会は午前、午後で内容が変わります。どの分科会でも質問はどしどし聞いてくださいね。

参加費

1日参加2000円(PDFのみ) 3000円(PDF/提案集)

2日参加4000円(PDFのみ) 5000円(PDF/提案集)

後援：大阪府教育委員会

主催：学校体育研究同志会 第37回大阪支部大会（南河内大会）実行委員会

アクセス 南海高野線「千代田駅」から東に徒歩5分
近鉄長野線「汐ノ宮駅」より西に徒歩8分



申し込み方法

右のQRコードから申し込みフォームにアクセスしていただき、必要事項を記入してください。問い合わせなどありましたら、下記までご連絡ください。



学校体育研究同志会 大阪支部南河内ブロック

佐々木盛文 ^{けいたい いくいく なはさんさん} 090-1919-7833

sasamori915@maia.eonet.ne.jp



☆申し込みをされた方には、専用ライングループに入っております。大会までのお知らせ、大会中の各分科会の内容などを情報提供させていただきます。もちろん、質問や問い合わせなどにも使います。

記念講演 31日(日)12:00~1:30

「戦争はウソから始まる(仮)」

講師:西谷 文和氏(ジャーナリスト)

西谷さんのこれまでの中東などでの取材経験から、今、一番気になるウクライナ/ロシア戦争情勢を映像や写真などを交えて語っていただきます。そして幼・小・中・高・大の大阪の教育現場で奮闘している教員を励ますための大阪の教育の現状についてもお話していただきます。



7月30日(土) (Ⅰ)10:30~12:30 (Ⅱ)1:30~4:00

番号	分科会	『入門提案』・『教材』(実践提案)	内容
1	健康教育 (Ⅰ・Ⅱ)	入門提案 窪田浩尚(枚岡東小) 実践提案 小2『みんなどこから』 笹田哲平(玉美小)	入門提案では、健康教育で何をどう教えるのかを丁寧に提案します。生活との結びつく学びは子どもたちが、知りたいことと結びつきやすく、ひとつわかるとどんどん学んでいきます。「みんなどこ?」の実践では、「自分や友だちはどうやって生まれてきたのか?」の学習でみんなが夢中になりみんなの自己肯定感や友だち理解が深まります。
2	運動会 (Ⅰ・Ⅱ)	入門提案 中村俊介(津田南小) 実践提案 宮本千絵(浜小) 大西朱夏(枚方小)	運動会は、なぜするのか、運動会で着きたい力は何なのか。もう一度問い直して、運動会について、みなさんで考えましょう。コロナ禍で制限された中でも、たくさんできることがあるはずです。職員での話合いや、子どもが作っていく運動会の実践報告からみんなで学び合いましょう。
3	水泳 (Ⅰ・Ⅱ)	入門提案 古川宗治(ならやま小) 実践提案 2年『ふしうき呼吸への道』 牧野満(元小学校教員)	入門期にあたる低学年の指導で、何を「わかり・できる」ようにしなければならないのかを「お話水泳」という教材を通して考えます。また、全国的規模で進む水泳の民間委託の問題についても論議します。
4	授業づくり① (Ⅰ)	フラッグフットボール 入門提案・講師 片本宏茂(玉出小)	中学年のフラッグフットボール実践を報告します。苦手な子にとってわかりにくさが多い球技の学習を集団でどう取り組むのか、実践で行なった実技をもとに考えます。
5	授業づくり② (Ⅱ)	マット(側転) 入門提案・講師 片本宏茂(玉出小)	「できるようになるためには」「子どもの声を聴くには」「集団で学ぶには」どうすればいいか。小学4年生の「側転」の実践をもとにして授業づくりの方法を提案します。
6	授業づくり③ (Ⅰ)	マット(低学年) 入門提案・講師 安武一雄(元小学校教員)	マット運動が好き(嫌い)になるポイントが分かれば、誰もが「マット運動大好き!」と言える授業ができると思いませんか? 「教える中身」「体の使い方」「学び合い方」から迫ります。
7	授業づくり④ (Ⅱ)	ボール運動 講師:シュートボール 梅山和也(八木小) じゃまじゃまサッカー 大瀬良篤(南大冠小)	ボール運動で楽しい場面といえばシュートこの分科会では、シュートボールとじゃまじゃまサッカーという教材を取り上げ、子どもたちにボール運動の楽しさやそこに生まれる学びについて参加者の皆さんとともに考えていきます。

7月31日(日) (Ⅰ)9:00~11:00 (Ⅱ)1:45~4:15

番号	分科会	『入門提案』・『教材』(実践提案)	内容
1	幼年 (Ⅰ・Ⅱ)	入門提案 塩田桃子(大阪成蹊短大) 実践提案 『3・4歳児のボール遊び』 井上みなみ(ポッポ第二保育園)	ごっこ遊びを絡ませ投げることをねらった実践です。目の前の子どもの姿を大切に、遊ぶ中で出た色々な思いやアイデアなど子どもの声を聞いて進めることを意識した実践です。
2	障害児 体育 (Ⅰ・Ⅱ)	入門提案 辻内俊哉(泉南支援) 実践提案 『バケツ野球』 栃木孝正(泉南支援)	子ども独自のあそび文化を大事にした「バケツ野球」の実践をみんなで検討します。また、ユニバーサルスポーツの視点から、新しいスポーツやゲームのあり方を考えます。
3	陸上 (Ⅰ・Ⅱ)	入門提案 梅山和也(八木小) 実践提案 1年『ようこそ！ならやまマリオワールド』古川宗治(ならやま小)	『走る・跳ぶ・投げる』という、陸上運動の要素が詰まった「マリオ」を教材にして、未分化の子どもたちにどのようにして陸上運動の楽しさを伝えていくのかを一緒に考えてみませんか？
4	ボール 運動 (Ⅰ・Ⅱ)	入門提案 下村亮(鳥飼北小) 実践提案 4年『じゃまじゃまサッカー』 大瀬良篤(南大冠小) 3年『かっとなし野球』 池田優生(味舌小)	小5ベースボール型『かっとなし野球』と小3ゴール型『じゃまじゃまサッカーⅡ』の実践報告を素材に、球技指導で教えたいこと・つけたい力を皆さんと一緒に考えたいと思います。
5	授業づくり⑤ (Ⅰ)	民舞 南中ソーラン 入門提案・講師 窪田浩尚(枚岡東小)	多くの学校で実践されている南中ソーランですが、ただ踊っているだけになっていませんか？民舞を教える意味や、子どもたち同士がつながるような授業づくりについて学んでいきます。
6	授業づくり⑥ (Ⅱ)	民舞 荒馬 入門提案・講師 菅 耕史(小倉小)	荒馬実践は保育園、幼稚園から幅広く行われています。馬になって跳び跳ねる心地よさ、二人でそろえる楽しさ、そして太鼓に合わせた踊りがとても魅力的です。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によって分科会の数、

実施形態(オンライン)などが変更されることがあります。

